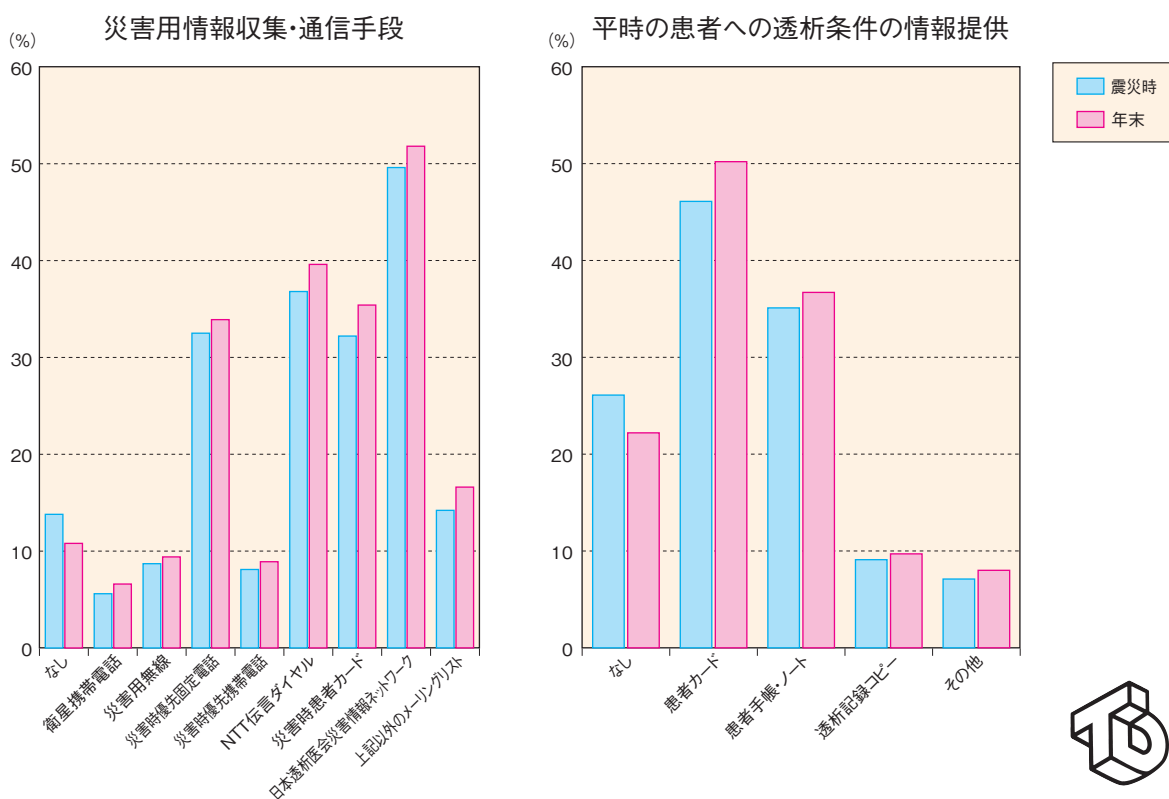


## 2) 震災関連調査

### (8) 災害時の情報収集・提供 (図表33)



災害用情報収集・通信手段

	なし		衛星携帯電話		災害用無線		災害時優先固定電話		災害時優先携帯電話		NTT伝言ダイヤル	
	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末
施設数	486	379	196	233	307	331	1,144	1,194	284	313	1,295	1,396
3,521施設に対する比率	(13.8)	(10.8)	(5.6)	(6.6)	(8.7)	(9.4)	(32.5)	(33.9)	(8.1)	(8.9)	(36.8)	(39.6)

	災害時患者カード		日本透析協会災害情報ネットワーク		上記以外のメーリングリスト		合計		不明		総計	
	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末
施設数	1,133	1,246	1,748	1,823	501	584	7,074	7,499	170	163	7,244	7,662
3,521施設に対する比率	(32.2)	(35.4)	(49.6)	(51.8)	(14.2)	(16.6)						

「震災時」と「12/31現在」の両方に回答がある施設：3,521施設（複数回答項目）

平時の患者への透析条件の情報提供

	なし		患者カード		患者手帳・ノート		透析記録コピー		その他		合計		不明		総計	
	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末	震災時	年末
施設数	922	783	1,628	1,773	1,241	1,297	320	342	252	281	4,363	4,476	40	35	4,403	4,511
3,533施設に対する比率	(26.1)	(22.2)	(46.1)	(50.2)	(35.1)	(36.7)	(9.1)	(9.7)	(7.1)	(8.0)						

「震災時」と「12/31現在」の両方に回答がある施設：3,533施設（複数回答項目）

#### 解説

災害時に利用する情報収集・通信手段について震災時と年末時の状況を複数回答で調査した。災害時情報手段を有しない施設は、震災前13.8%、震災後10.8%と減少した。震災後では51.8%の施設が日本透析協会の災害情報ネットワークを情報収集手段としており、ついでNTT伝言ダイヤル39.6%、災害時優先固定電話が33.9%であった。

平時の患者への透析条件の情報提供について、震災時と年末時の両方に回答があったのは3,533施設であった。患者カードや、患者手帳による情報提供が震災後軽度増加し、なしと回答した施設は26.1%から22.2%に低下した。